会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2012年9月号

千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年 9月1日発行　通巻233号（毎月1回発行）

個人会員制度スタート

新しい仲間を迎えよう ！！

目　　次

・　９月号目次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
・　９月花博士の花便り・・・・・・・・・・中原　記代治・・・３
・　ハイキングリレーエッセイ・・・・・・吉田　幸輔　・・・４
・　山行報告　・・・・・・・・・・・・・・・萩野　孝・・・・・５
・　会山行報告・東葛山の会・・・・・・・安彦　秀夫・・・・６
・　個人会員制度案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
・　東北震災芸能慰問報告・・・・・・・・山本　尚徳・・・１４
・　支援バスハイク案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
・　関東ブロック自然保護担当者交流集会案内・・・・・・・１７
・　第６回　ワンコイン講習会案内・・・・・・・・・・・・・１８
・　２０１３年労山カレンダー案内・・・・・・・・・・・・・１９
・　県連便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
・　９月・１０月予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

表　紙　説　明

東葛山の会には、百名山経験者が９人、３００名山が一人います。
これは、会員数５４名の会としては驚異的なことである。
３００名山完登者の安彦さんの背中を追っかけて、また先輩完登者と・会と会員の大きなサポートがあっての偉業であろう。
そして、今回の幌尻岳・後方羊蹄山に参加者全員（１２名）が登頂した。準備段階での問題解決、現地でのアクシデントをリーダーの的確な判断で乗り切る。むしろこれらを楽しんでいるかに思える。
確かな知識、技術そして判断力があっての事です。そして、一本スジの通った会運営、まさしく３５年の歴史を感じることが出来る。
これが、東葛山の会であろう。

（編集者）

花博士の花便り。

ふわくハイキングサークル　　中原　紀代治

カラスウリ（うり科カラスウリ属）

8 月から 9 月初旬の夜に咲くカラスウリが有ります。５つの花弁から糸状のレースで編んだ様な花を咲かせます。開花は、日没から短時間で開き翌朝の 4 時ごろには、しおれてしまう 1 夜花です。

雌雄異株で雄株は､1 ヶ所に複数の雄花だけの花芽をもち数日間連続して咲きます、雌株は、花の下に膨らみがあり、1 箇所に一つだけ咲き大型のスズメガなどが受粉を手伝います。受粉されると実が大きくなります。

果実は、縦の線が通った緑色で光沢があり 10 月から 11 月末に熟れて綺麗なオレンジ色や朱色に目立ちます。

果実の中に入っている種子は、よく見ると大きな耳を持った大黒様の顔や打ち出の小槌に見えることから、縁起物とし財布に入れる人がいました。

8 月に咲く里山の花は、散歩道に咲くナツズイセン、キツネノカミソリ、その他に御岳山のレンゲショウマ、ヤマホトトギス、など私の好きな花です。

キツネノカミソリ（ヒガンバナ科）

8 月 18 日茂原公園へキツネノカミソリの観察に行きました。13 日に見た時は、何も無かった処に 100 本以上の花が満開でした。正にキツネに騙されたみたいです。

キツネ色の花が咲きカミソリ見たいな葉は、後から出ることから名づけられたそうです。

9 月は、ヒガンバナが楽しみです。

投稿者の中原さん　には、季節ごとの　花とエッセイをいただいています。季節感のない内容に、文字通り花を添えています。毎回、好評で楽しみにしているとの声も届いています。また「花の最盛期に現地を探勝したい」などの要望もあります。「中原さんと・野辺の花々を訪ねて」などはどうでしょうか？　（編集者より）

檜洞丸山行雑感

シリウス山の会　吉田幸輔

4 月 21 日に山の会のメンバー5 名で西丹沢の檜洞丸～犬越路のコースを歩いた。自然林の芽吹きが美しい楽しいコースで、また結構な急坂で鎖場などがあり、特に下山道に選んだ犬越路は小笄手前から鎖場が連続し、霧で岩が濡れていたので一歩一歩足場を確保しながら下りた。スリリングな緊張感のある山歩きの楽しさを実感でき、充実した山行となった。

この檜洞丸にて出会った鹿をご覧ください。この鹿は檜洞丸から犬越路方向に降りた個所で出会ったもので、中々可愛らしい、しかしよく見てみると周りはかなり荒れ果てているのが分かる。

この山域を含めて鹿による食害が大きく、山の木々や草は枯れている。西丹沢自然教室には鹿による食害を記載した壁紙が貼られていた。

なぜこのように鹿の食害が大きくなったのだろうか？

「捕食者なき世界（ウイリアム・ソウルゼンバーグ著、野中香方子訳、文芸春秋社発行）」に、鹿の餓死の例が紹介されている。

1920 年代米国グランドキャニオンの北の台地の鹿の多くが餓死した。これより前に政府がこの台地からオオカミ、ピューマを一掃した愚策の結果、鹿の数が爆発的に増えた。若枝が最後の１本まで食べ尽くされると鹿の数は激減し、多くは餓死した。鹿の群れは捕食者がいなくなったせいで消滅した。生態系を維持していた捕食動物を皆殺しにすることがいかに愚かか、居てしかるべき敵の不在が鹿に深刻な不運をもたらしたかは、明らかだ。鹿はそれらの敵によって適正な数を維持し、食料の過剰摂取を防いでいる。たくましい、恐れを知らない鹿は荒廃した雑草ばかりの森をもたらす。

肉食動物は被食者を食べる存在としてではなく、被食者の行動を抑制する存在としてより大きなはたらきをしている。

‘米国ではイエローストーンに狼が放たれ、捕食による鹿の数の減少に加えて恐怖心が鹿の態度を変え、森は復活しつつある’というＴＶ放送をご覧になられた方も多いと思う。

日本の鹿の繁殖は、この丹沢、尾瀬、奥多摩などを初めてとして山地の植生に悪い影響を与えている。日本にはトップ・プレデター（狼など頂点捕食者）がいない。狼の絶滅は 1905 年だが、鹿の急激な増加はここ 20～30 年であり、このタイムラグの理由は明確にされていないようだ。

最近では、ＴＶ放送などで豹、ライオン、虎などによる鹿などの狩りの場面を見るときは、強い草食動物に絶滅に危機に瀕している肉食動物が立ち向かっているのだな！！ひ弱な肉食動物の必死の狩りの成功を期待する、という気持ちになる。

鳴神山の花便り

千葉こまくさ HC
自然保護委員　荻野孝

ヒメイワカガミ

カッコソウ

花の名山、鳴神山の花だより
鳴神山は桐生近郷の桐生岳、仁田山の双耳峰
固有種、絶滅危惧種と多種多様の花が咲く
4 月にナルカミスミレ、ルイヨウボタン、フタバアオイ
アカヤシオ、ニリンソウ
5 月にカッコソウ、ヤマブキソウ、ヒメイワカガミ
ヤマツツジ、ヒイラギソウ、フモトスミレ
6 月はイワタバコと田中澄江さんの
新、花の百名山に記述された花を身近に感じられる山
桐生岳はヒメイワカガミのかわいい白花が咲き、
日光白根山、男体山、皇海山、袈裟丸山、
足尾の山並み、武尊山と展望も素晴らしく
仁田山はミツバツツジ、アカヤシオ、ヤマツツジと
ツツジのトンネルになるツツジの名所
地球上で鳴神山山系だけに生息している日本固有の植物
『種の保存法』日本国内希少野生動植物に
本年 5 月 1 日より指定されたカッコソウと
桐生岳の岩肌に白く輝くヒメイワカガミ
春の花を愛でにふわく HC の K さんと、こまくさ HC の仲間と 4 人で
5 月下旬に新緑が眩しい駒形登山口から登ってきました
林道を少し歩き沢沿いの登山道に入ると空木の純白の花が目に入る
足元にはヤマカタバミがチゴユリがたくさん咲いている
爽やかな風を浴びながらゆっくり歩を進める
ヤマブキソウが木洩れ日に輝いていた、素敵な光景、雰囲気です
沢山咲いている登山道脇でしばし休憩、沢の水音を聞きながら春の花を満喫
沢沿いの登山道を登りつめ、枯沢を過ぎ、急登を終えると
肩の広場、本日の目玉カッコソウを心ゆくまで鑑賞
桐生岳山頂で展望を楽しみながらの昼食、楽しい山談義のコーヒータイム
ヒメイワカガミを堪能しヤマツツジが満開の仁田山へツツジの鑑賞へ
新緑の淡い緑に赤いツツジが素晴らしいコントラストです
小さな花ではあるが存在感のあるフモトスミレに別れを告げて下山にかかる
最後の最後に鳴神山からのご褒美　絶滅危惧種のヒイラギソウに出合えました
鮮やかな紫というのかブルーに近い綺麗な花です 4 人とも初対面なので大感激
花に恵まれ、仲間に恵まれ、お天気に恵まれ　素晴らしい花登山でした。

日本百名山:幌尻岳・後方羊蹄山の両峰に立つ！

東葛山の会　　安彦秀夫

この夏も北海道の山を、会の仲間と一緒に味わいました。雨にも遭いましたが、予定の山の頂きに１２名全員が立つことができ、充実した７日間を過ごすことができました。　　日程：２０１２年7月５日（木）～１１日（水）＜６泊７日＞

＜1＞ 幌尻岳のアプローチは…

殆どのガイドブックや旅行会社のツアーで紹介されている『額平川遡行コース』を利用するには、次の制約があり、併せて、人数が多いので難しいと判断し、私にとっても初めての『新冠コース』を取ることにして、計画を練りました。

その制約とは…

１）幌尻山荘宿泊（素泊まり）は、完全予約制（定員５０名）で、希望日を確実に予約できるかどうか分からない（飛行機の予約と併せて）。

２）入山前後及び当日に大雨が降れば、額平川の水量が増し渡渉が危険になり、入山・下山が出来なくなる恐れがある。

３）登山口までの林道がマイカー乗り入れ禁止で、シャトルバス利用のため、入山・下山時刻に制約がある。

但し、『新冠コース』は、『新冠ポロシリ山荘』までの林道歩きが片道１８余KMもあり、重い荷物を背負っての往復の歩きを考えた場合、果たして参加者はどれだけいるだろうかな…とは思いました。

この新冠コースの場合、渡渉はあっても僅か１回（運が良ければ、倒木を渡れる）なので、沢靴は必要が無く、入下山の雨の影響も殆ど無く、確実に登れる…という利点がありました。最近は、このコースを利用する人も増えてきているようです。

＜2＞ 後方羊蹄山は、どのコースから登るか…

過去２回登ったコース（真狩、倶知安）ではなく他のコースを登りたいことと、登山口近くに適切なキャンプ場があることで、迷わず『京極コース』に決めました。

ただ、このキャンプ場には『バンガロー』が無いことが気がかりで、雨が激しく降った場合、逃げ場が無いなぁ…と、当日まで悩んでいました。

幸い、雨には降られましたが、さほど強くも無く２夜を過ごすことが出来ました。

しかし、このキャンプ場で唯一想定外であったことがあります。

それは、キャンプ場内に『ゴミ置き場』の設備が無く、全て持ち帰りしなければならなかったことです。地元の若者や役場等に問合せし、なんとか地元のゴミ専用袋を購入し、コンビニ近くに設置されているゴミ集積所に２回に分けて出すことが出来ました。でも、それで１００％クリヤーできたのかどうかは自信がありませんが…。

＜3＞ 林道が崩壊して10月末まで通行禁止！

５月下旬、インターネットで知りました！

『崖崩れにより、１０月末まで石清水ダム線入り口～新冠ダムの町道通行止め！』

その瞬間、目の前が真っ暗になりました！

当初の予定でも長時間の林道歩きをしなければならないのに、更に手前から歩かな

ければならないのでは、幌尻岳登山は日程的にも無理で、諦めるしかないかな…と。
　既に、飛行機やホテルの予約が済んでいるので、この制約された中で、可能な限りの計画変更を余議無くされました。

＜4＞ 幌尻岳コース変更

　『過去２回利用した額平川コースを利用するしかない…。しかし、幌尻山荘の宿泊予約が出来なかったらどうしよう…』と思い、焦りだけが募りました。
　幸い、『第１希望の７月６日（金)』の予約を運よく出来ましたが、翌７日（土）は既に４０名の予約があり、厳しい状況でした。
　これでなんとか幌尻岳登山は出来る見通しが立ち、参加希望者全員にメールにて変更連絡をしました。
　そんな中、『七ツ沼を見たいが、できますか？』というメールが入りました。それに対して、『時間的に無理です。諦めて下さい。』と、返答しました。と言いますのは、幌尻山荘１泊では、登頂当日に下山しなければならなく、併せてシャトルバスの制約もあり、時間的に難しい（殆ど不可能）ためです。
　返答したものの、恐らくは参加者にとって、この機会が最初で最後になるであろうと思った時、希望をなんとかして叶えてあげたい…と思い、現地にメール及び電話にて再三交渉をしました。
　その結果、なんとか２泊を予約することができました。これで、幌尻岳から戸蔦別岳の周回コースを取ることが可能になり、七ツ沼を縦走路から充分眺めることが出来るようになりました。又、仮に天候が悪い場合でも、幌尻岳への登頂チャンスを２回確保できたことになりました。これで先ずは一安心！

＜5＞ 幌尻岳～戸蔦別岳周回コース終盤で…

　初日の額平川の渡渉でのメンバーの状況から、歩く順番を変更しました。
　幌尻岳まではなんとか全員大きく離れることも無く、お花畑に咲き誇る高山植物に歓声を上げ、思い思いに写真を撮り、順調に登りました。
　山頂でゆっくりした後、群馬県から来たツアーパーティー（１１名）の出た後、かなり時間を開けて歩き始めました。しかし、七ツ沼が右手に見える頃に追いついてしまい、私達が先行することになりました。
　しかし、私達のパーティーの後ろ男性３名が離れ、後続パーティーに吸収されるのでは…と思われることがしばしばでした。休憩後一緒に歩き始めても、次第に離れ始めるようでした。その繰り返しでした。しかし、私は写真を撮っているのだろう…位にしか思っていませんでした。
　戸蔦別岳を過ぎ、縦走路からいよいよ幌尻山荘に向けて急な下降が始まりました。休憩時には１２名全員揃うのですが、先頭９名が『六ノ沢出合』に着いた時には、後ろ男性３名は、かなり離れていたようでした。
　『六ノ沢』の渡渉地点が、チョッと分かりにくいので、先ずは私が渡り、後続女性６名には、適当と思われる地点まで、沢沿いに藪を漕いでもらい渡渉してもらいました。一緒に着いた男性２名には、遅れている３名に道を教えるため渡渉地点手前で待ってもらいました。
　遅れている男性３名を待っている間に、急に強い雨が降り出し、慌てて雨具上下を着けました。……。待っても待っても男性３名が見えないので、山荘管理人から教

わっていた『右岸沿いに進み、山荘手前で丸木橋を渡るだけなので、ルートには問題ない』ことを、女性６名に説明し、先に降りてもらうことにしました。
（しかし、これが大問題であったことを後で知ることになりました。）
どのくらい待ったでしょうか…。六ノ沢の水量はあっという間に増しているではありませんか！　簡単に渡渉できた地点の岩は、既に流れに飲み込まれていました。
やっと３名が現れた時は、群馬の後続パーティーも一緒でした。
男性６名が揃ったので、下り始めました。しかし、直ぐに道は不明瞭になり、藪を漕いだり、沢に降りて岩を伝ったりの繰り返しが延々と続きました。
目印の赤布は少なく、ケルンもところどころにしかなく、ルートファインディングにはかなり苦労しました。
６名一緒に歩いたのでは、ルートファインディングの為に、余分な時間が取られると判断し、私が先行し、分かりにくい所で後続を待ち、現れたら又先行する繰り返しをし、又、待っている間に、ケルンを要所々々に積んだりして進みました。
丸木橋が見えた時は、ホッとしました。
山荘に着いたら、既に女性陣は無事（？）着いており、安心しました。

＜6＞六ノ沢から幌尻山荘までの沢での事故

先行した女性６名は、私の『右岸沿いに進む』を忠実に守ろうとして、かなり苦労したようです。沢で滑って転んで、岩に足を強打し腫れた人もいたようです。
本人は、足に痛みがあり、腫れていることを非常に気にしているようでしたが、特段それ以上の心配もせず振舞っていたので、私も気にも留めませんでした。
実は、帰って来てから、あまりにも痛みと腫れがあるので病院に行き、診察してもらった結果が、『右足小指骨折』でした。
この報告を聞いた時、『女性６名を先に行かせた判断』はリーダーとして、適切であっただろうか…と思い、例会等で多くの会員の意見を伺っている状況です。

＜7＞ 雨降りで、後方羊蹄山登山順延…

３時に起床。天気予報が思わしくない。翌日の方がどちらかと言うと、良いかもしれない。ということで、今日は観光とし、休養日にしました。決めたら早起きをせず、またシュラフに潜り込みました。
朝食時に、殆どの人が初めての『積丹半島一周ドライブ』に決めました。
先ずは積丹岬の『島武意海岸』へ。照明の無い真っ暗なトンネルを抜けると、目の前に青い海と大小の奇岩が浮かぶ景色が目に飛び込んできました。
続いて積丹半島突端の『神威岬』へ。しかし、雨と風が強く、展望はゼロ。車から降りることさえもできませんでした。来たことの証として、入口の看板の写真を車から撮りました。誰かさんは、車から降りて写真を撮っていましたよ！
雨の海岸線を走り、岩内へ。道の駅に寄り、近くのお寿司屋さんを紹介していただき、超豪華な海鮮丼を皆で舌鼓みしました。美味かった！超贅沢！
その後、『ニセコ五色温泉』にて入浴し、キャンプ場に戻ってきました。
翌日は、天候に恵まれ、『１合目』から『９合目』まで、全ての『合目』で休憩し、全員元気に後方羊蹄山山頂に立つことができました。万歳！

＜８＞最後に

比較的天候に恵まれ、当初予定していた山登りをすることができ、また、参加者の満足の顔に接することができ、計画した者としてホッとしています。

特に、『額平川遡行』は幸いにも往復共心配していたほどの水量はなく、渡渉を楽しめたようでした。（今回購入した沢靴を押入れ奥にしまっておく手はないですよ！）

最終日には、話しの種として、『真狩川河川公園（細川たかし像）』を訪れ、後方羊蹄山を見上げ、また、樽前山東山までの軽いハイキングも楽しみました。

下山後は、『休暇村支笏湖』で入浴し、ざるそばに舌鼓みしました。食後は、村内の散策路を通り、支笏湖畔に立つ展望台から『恵庭岳』を、以前に会の仲間と登った時のことを思い浮かべながら眺めました。

連日天候に恵まれれば、『ニセコ高原』も楽しむ予定でしたが、１日は天候が悪く、積丹半島のドライブにしました。今思えば、連日の山登りよりも中休みがあったことが、参加者の皆にとって、むしろ良かったのでは…と思います。

そのような中、『神威岬が強い雨で歩けなかったこと』と『道路工事中でオコタンペ湖に行けなかったこと』が、心残りですかね。

訪れる度にいろいろと違ったことを体験でき、今回も北海道の山を全身で楽しむことができ、満足の１週間でした。同行の皆さん、ありがとうございました。
来年はどこ？

幌　尻　岳　山　頂

ROUSANパートナーズ　がスタートしました

ＲＯＵＳＡＮパートナーズ（個人会員制度）のホームページ http://www.yama-tomo.jp にアクセスしてください。

千葉県連でも入会を受付けます。一人で山を楽しんでいる友人・住居近くに山の会のない知人などに紹介してください。

ＲＯＵＳＡＮパートナーズへの問い合わせは

千葉県連盟ホームページ・事務局への問合わせまで

ＲＯＵＳＡＮパートナーズ（個人会員制度）の案内

千葉県連盟　会長　広木国昭

９月１日より、個人会員の入会受付がスタートしました。千葉県連盟としても、総会で導入を決定し「拡大検討部会」を中心に検討を実施してきました。

しかし、各会の意見を十分に反映出来なかった事が残念です。今後、各会の参加で千葉県連盟にマッチした制度運用を確立して行きます。

この制度の一番の不安点として指摘された「全登山サポートシステム」（山行管理）について報告をします。

今回、紹介する「安全登山サポートシステム」は、既存の会（組織会員）で実施できるシステムです。自会での実施を検討ください。

安全登山サポートシステム（労山組織会員）運用マニュアル

1. 安全登山サポートシステム（以後サポートシステムとする）とは
   「ＲＯＵＳＡＮパートナーズ」労山会員が登山を開始し、無事下山するまでを「安全登山サポートセンター（以後センターとする)」がサポートします。
2. サポートシステムへの参加はパソコン、携帯電話、スマートフォンで利用可能とし、携帯電話はdocomo　ａｕ、ソフトバンクの３キャリアとします。
   スマートフォンはアップル系、アンドロイド系の２キャリアとします。
   労山会員は労山システムの会員番号、パスワードでログイン、ログアウトし、システムへの出入りをします。携帯電話は初回のみ登録とし、次回からは携帯電話を識別し簡単ログインとします。
3. 山行計画書の入力
   会員の山行計画書の会員からの送信は宿泊を伴う場合は前日とし、日帰りの場合は当日登山開始までとします。
   計画書の記入は「ヤマトモ」ホームページから行います。
4. 会員は、登山開始時に「入山」連絡をし、登山終了後には必ず「下山」連絡を行います。
   「入山連絡」がない場合には、計画書にある登山は実施しないものとセンターは判断します。登山中に計画の変更があった場合には、会員が計画書の訂正をします。
5. 下山予定時間がすぎた場合にはセンターより会員に下山連絡の呼びかけを行います。
   下山連絡がない場合は、センターは監視態勢に入ります。
6. センターが設定した時間が過ぎた山行計画に対し、会員に電話で下山確認をとります。
   次の対応として緊急連絡先に電話で下山確認を行います。
   いずれも連絡が取れない場合は遭難とみなし、会員の当該会・クラブの担当者に連絡します。
7. 登山中に事故や病気または現在地を見失い行動できなくなった場合には、会員はアクシデント送信を行い、センターは監視体制に入ります。会員の当該会・クラブの担当者にも連絡します。

8. ホームページの計画書は、当該会の承認がないかぎり新特別基金の計画書としては認められません。会の担当者に会が認めた計画書を届けてください。
9. 労山会員が入山連絡、下山連絡が適正でない場合は、会員にたいしサポーセンターはシステムの参加を拒否することがあります。
10. この運用マニュアルの改廃については、安全登山サポートセンターが発議し、全国連盟理事会の承認を得るものとする。

全国連盟個人会員制度ホームページの一部を紹介します。

ようこそ　ＲＯＵＳＡＮパートナーズは
―日本全国から入れる登山の新しい個人会員制度―

ＲＯＵＳＡＮパートナーズは、個人で登山をしている人、また登山を希望する人に対して個人で入れる新しい個人会員制度です。

ＲＯＵＳＡＮパートナーズは、全国に 700 の会クラブを持つ日本勤労者山岳連盟の新しい制度として発足しました。当然、会クラブと安全・知識・技術・登山文化などで相互交流が出来ます。

■ＲＯＵＳＡＮパートナーズの魅力は

①月当たり 667 円というリーズナブルな会費で充実した内容

年額 8000 円（Ｉ型）で、入山下山と遭難事故に対応する「山行安全サポートシステム」、「遭難事故対策補償制度」、全国 250 の山小屋等での割引制度、情報紙・メールニュース、学習・技術講座、ネットでの情報交流サイト等のサービスがあります。

②入山届をメールで送信すると確認メールが返信

ＲＯＵＳＡＮパートナーズの入会条件は、メールが使えることです。登山計画を決めたら事前に定形の山行届をメールで送付する。入山当日、携帯メールで「入山」を送信。確認メールとその山域の登山情報などが返信されます。

③納得がいく独自の遭難事故対策補償制度

日本の登山界で唯一の独自資金で 50 年運営している会クラブの「遭難対策基金」のノウハウにもとづいて開発した独自資金の補償制度。200 万円限度の救助捜索費、死亡・入院・通院見舞金、海外トレッキング見舞金などがあります。

■安全登山サポートとシステムとは

労山全国連盟事務所内に開設した「安全登山サポートセンター」が 365 日 24 時間　監視し、緊急時の対応をしている。

①　登山当日に「入山ボタン」送信でサポート開始

ＲＯＵＳＡＮパートナーズの要となる山行管理システムです。登山計画書は事前にネットに送信。山行計画書の受付・変更・中止もネット上で行えます。入山当日、携帯メールで「入山ボタン」を押すと、サポートが開始されます。

「入山ボタン」のシステム受信能力は 1 時間 3000 件（およそ 1 秒間 1 件）。

②下山後に「下山ボタン」送信でサポート終了

山行計画書に記載した下山予定時間までに「下山ボタン」を押すとサポートは終了する。

会員の山行計画書は、各会員のマイページに 10 年間自動的に保管されるので後日、自分の山行を自由に見ることができ、写真などを加えた山行記録を作成する。ＲＯＵＳＮパートナーズの交流サイトへの公開・非公開は会員が各自の判断で決める。

③緊急時の対応について

□ 次の事項が生じた時、速やかに緊急時の対応に入る

・入山確認会員から登山中に緊急時の対応メールが送信されてきた時

・入山確認会員から通知されている予定下山時刻を超えても下山の送信がなされない時

□ 遭難時の対応

遭難が明らかとなった場合は、入山確認会員から届け出のある連絡先と協議し、救助のための可能な手立てを行う。

遭難救助・ケガなどには、補償制度で対応する。

→個人会員の特典

■会員になると自動的に提供される特典は

- 個人会員証

  正会員に交付、会員証の提示で、提携山道具点や提携山小屋などで割引制度が適用されます。

- 労山ニュース

  年３回発行される労山の最新ニュース。「Ｒ０ＵＳＡＮパートナーズ」ホームページで見られます。

- 安全登山管理システム

  登山計画書の出された登山を、２４時間体制で管理、サポートします。

- 学習・教育システム利用

  登山に関する技術、理論を学ぶ場を提供します。全国の登山学校、教室に参加出来ます。

優待施設割引利用

全国２５０の山小屋、有名山道具店などの割引制度が利用できます。

・ 遭難事故対策補償制度

登山中の遭難・事故に対して、救助・捜索費用、上限２００万円、入・通院見舞金が交付されます。（死亡事故１００，０００円交付）

東北震災芸能慰問

かがりび山の会
山本　尚徳(柳家　笑多)

8 月 3～4 日に福島県と宮城県の仮設住宅の被災者方々へ落語と安来節の慰問に行きました。

1 日目は松川ＳＡから南相馬市小池子草に向かいましたが、沿道の家々は人影もなく稀に見かけるは白い防護服を着て作業をしている人のみでした。
仮設住宅の集会場で高座を終了して、住人の方々にお話しをお聞きました。
農家の方々が多く、帰宅の許可は出ても自宅に宿泊は出来なく、後 3～5 年は仮設住宅から出られない様子です。瓦礫の置き場はなく草刈をしても手が追い付かず、気力を無く一様に暗い表情でした。

2 日目は気仙沼唐桑地区で午前は旧唐桑小学校の仮設住宅で昨年 11 月に安来節の泥鰌すくいの踊りを体験した 92 歳のお婆さんが今年もやるぞ！と元気一杯に赤い襷を持参して参加したのは、仮設住宅の方々の笑いを呼び起して盛り上がり活気ある演芸会となり、次回の再開を約束してお開きになりました。

午後は高台のいさりびパークの仮設住宅で高座を開きトリは沖縄さんしんの演奏と唄で楽しみ、全員で輪を作り歌いながら盆踊りのように輪を廻って踊りましました。
今迄で、こんな楽しい慰問は無かったと大変喜んで頂きました。

芸能慰問は被災者の方々の笑顔や拍手を頂き限られた時間でも心和んで頂き、
一緒に時間を共有出来るのが人との絆を実感して有意義で有難かったです。

安達太良山バスハイクのご案内

主催　NPO 法人ちば労山ゆう

東北（福島）の名峰「安達太良山」に登り、東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者への思いを込め、そして、原発事故により故郷を追われ、未だに故郷に帰るすべもなく悩み苦しんでいる福島の方々に応援のメッセージを届けましょう。

届け被災者へ福島へ！復興と支援、そして鎮魂の歌！

実 施 日　：2012 年 10 月 21 日（日）

集合場所：①千葉地区　千葉 NTT 前　　6:00 出発　帰着予定 20:00
　　②東葛地区　松戸市民劇場脇　6:00 出発　帰着予定 19:30

募集人数：９０人

参 加 費　：６,０００円（往復バス・ゴンドラリフト代含む）

歩　　程：約２時間３０分（登り 1:30　下り 1:00）
　　＊山頂周辺で黙祷及び鎮魂歌の斉唱等を行います
　　＊１０名程の班に分け、各班に CL と SL を配します

昼　　食：各自行動食をご用意下さい

申 込 先：各会担当者（会でまとめて、ＮＰＯ本部に申し込みください）

締め切り：９月２４日

注 意 事 項

雨天決行します。
取り組みの主旨を尊重して、余程の悪天候で無い限り実施します。
10月末の安達太良山は、雪も予想されます。寒さ対策・足ごしらえを十分にして下さい。

花は咲く

1　真っ白な　雪道に　春風香る
わたしは　なつかしい
あの街を　思い出す
叶えたい　夢もあった
変わりたい　自分もいた
今はただ　なつかしい
あの人を　思い出す
誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましている
誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に
花は　花は　花は咲く
いつか生まれる君に
花は　花は　花は咲く
わたしは何を残しただろう

2　夜空の　向こうの　朝の気配に
わたしは　なつかしい
あの日々を　思い出す
傷ついて　傷つけて
報われず　泣いたりして
今はただ　愛おしい
あの人を　思い出す
誰かの想いが見える
誰かと結ばれている
誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に
花は　花は　花は咲く
いつか生まれる君に
花は　花は　花は咲く
わたしは何を残しただろう
花は　花は　花は咲く
いつか生まれる君に
わたしは何を残しただろう
花は　花は　花は咲く
いつか生まれる君に
花は　花は　花は咲く
いつか恋する君のために

第２２回関東ブロック自然保護担当者交流集会　実施要綱

主催　　日本勤労者山岳連盟関東ブロック協議会

主管　　千葉県勤労者山岳連盟

「開催場所」　東京大学演習林　清澄宿泊施設-

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄 135　　TEL 04-7094-1990

安房小湊駅－（JR 外房線 5 分）－安房天津駅－（コミュニティバス「清澄線」12 分）－

「東大演習林」下車－（徒歩 3 分）－清澄宿泊施設

「日時」　2012 年　10 月２７(土)　～２８日(日)

27 日　12：00　受付

13：00　開会

開会挨拶

県連会長挨拶　広木国昭

講演「千葉県の哺乳類」

千葉県環境生活部自然保護課　生物多様性センター　浅田　正彦　氏

イノシシやシカなどの獣害対策を主に担当。希少種から有害な外来種まで、

幅広く県内の哺乳類について解説

15：30～　各県からの報告

各県での自然保護運動の取り組み

資料は当日 30 部用意し持参してください

発表に必要な機材があれば事前に申し出てください

18：00～　夕食　懇親会

28 日　8：00　朝食

9：00　房総の山ハイキング

清澄山周辺　案内　中原紀代治氏(ちば労山　ふわくハイキングサークル)

12：00　解散

「参加費用」

宿泊費・資料代　８，０００円(懇親会費を含む)

「連絡＆申込先」

9 月末まで　各会で参加者をまとめ　下記アドレスに送ってください

自然保護委員長　菅井　修

PC　アドレス　　fa23475@wa3.so-net.ne.jp

房総の自然の成り立ち・動・植物の生態などについて、県外の仲間をむかえて学びます。

ぜひ、この機会に、ふるさと千葉の自然について学んでください・

第６回ワンコイン講習会

主催　千葉県連盟女性委員会

体に優しい トレーニング

毎度おなじみの

楽しく学ぶ・正しく学ぶ

実施日　Ｈ２４年１１月１８日（日）１３時～１６時

場　所　船橋市中央公民館・第１和室（ＪＲ総武線船橋駅下車）

参加費　ワンコイン（５００円）

講　師　荒井　美穂　先生

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟　ホームページ事務局への問い合わせまで

講　師　紹　介

- セントラルスポーツ・看板インストラクターとして活躍中です。
- 最新のトレーニング法で、初心者からアスリートまで、幅広く指導し、信頼を得ています。
- 個々の悩み、希望に親切、ていねいに応えてくれます。

ワンコイン講習会とは

女性委員会では、いつまでも山に行ける体力を維持するために
「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習を行なっています。
今回は６回目になります。毎回、好評の講習会です。
大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

各　加盟会・クラブ　様

2013年労山カレンダーの申込みついて

過日、全国連盟事務所において日本山岳写真集団の高橋良行さんによる来年の労山カレンダーの写真選考をおこないました。

応募は13名の会員から80点の作品が寄せられました。当選された作品は海外が１点、日本の山が６点でした。

現在、最終の校正を行っていますが、早めにカレンダーの申込を受付けます。

例年通り、１部1,200円（定価）ですが、地方連盟には１部800円で送料無料にてお送りします。

名入れについては50部以上を無料で承ります（20部以上49部までは名入れを承りますが2,000円の版代がかかります)。

名入れの申込みは、できるかぎり８月中でお願いしましたが、全国連盟事務局に相談してください。９月中ならば間に合うかと思います。

※ 申し込みは、所定の用紙でお願いします。全国ホームページよりダンロードをお願いします。（ちばニュース７・８月号に掲載あります）

カレンダーついて千葉県連の取り扱い

カレンダーの取り扱いについては、以下のようにお願いします。

１、所定の申込用紙にて、各会より直接「全国連盟事務局」に申し込んで下さい。全国連盟事務局より、各会に送られます。
会名を入れる場合には、９月中に申し込むこと。

２、カレンダーの費用については、千葉県連盟に納入して下さい。
定価　１部　１，２００円ですが、各会には　１，０００円でお願します。
全国連盟には一部８００円を納入し、２００円を例年通りを県連盟の財政とさせていただきます。
ご理解とご協力をお願します。

申し込みは、早目にお願します。
カレンダーが会員に届くのが、年明けとならないようにお願します。
年内に、届いた分は、１２月２０日の県連理事会で入金をお願します。
問合せは：県連ホームページ事務局への問合せ
または、広木までお願いします。

県連たより

県連盟連絡先

◎　千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
　　レジデンス幕張台 101 号室
ＴＥＬ・ＦＡＸ：　043-306-1190
Ｅメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
ＪＲ総武線幕張本郷下車、海側　徒歩５分

◎　**千葉県連ホームページ**
　　http://www.cwaf.jp

◎　**「ちばニュース」原稿送付先**
　　newstoukou@cwaf.jp

◎　**事故一報送付先**
教遭委員長・岡田　賢一
　　ken-ichi@f4.dion.ne.jp
　　Ｆａｘ：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事

◎　**連盟費振込み先**
郵便振替口座　00160-3-481509
　　千葉県勤労者山岳連盟

◎　**東日本大震災・支援金振込み先**
口座番号：ゆうちょ銀行
　　00130-7-595190
加入者名　　佐藤　勝子
〒272-0023
　市川市南八幡　1-25-16

☆　**事務局のお手伝いを募集中**
事務所の片付け・資料の整理など
空いた時間でお手伝い下さい。
一人でもお友達と一緒でも大歓迎です。
連絡先は：広木まで

ＮＰＯ法人「ちば労山ゆう」

◎　**県連ホームページから**
「ちば労ゆう」の情報をキャッチして下さい。入会も出来ます。
・入会申し込みは
http://www.cwaf.jp/contact/10-2/
・「ちば労山ゆう」への問合せは
http://www.cwaf.jp/contact/09-3/
・ＮＰＯ　支援活動日
９月１５・１６・１７日

入会情報（８月３０日現在）
正会員数　　７８名
賛助会員数　９２+名
合計　　１７０名

県連会員数の、約２２％です。
今年度中に、５０％の加入を・・
・入会をお待ちしています。
労山会員以外の方も入会出来ます。友人、知人を紹介して下さい。

☆　**個人会員入会受付開始**　☆
千葉県連盟は、全国連盟と協力して個人会員制度を開始しました。
近くに、会・クラブがない、一人でハイキングを楽しんでいる方、
登山技術、知識に自信がなく不安な山行をしている方などに紹介をお願いします。
資料請求・質問・入会案内など個人会員制度に関することは・下記アドレスにお願いします。

danphirp@zpoat.plala.or.jp

県 連 活 動 予 定 表

9月			10月		
1	土		1	月	
2	日	救助隊主催講習会	2	火	県連役員会
3	月	女性委員会　幕張公民館	3	水	
4	火	県連役員会	4	木	
5	水		5	金	
6	木	NPO役員会	6	土	NPO支援活動
7	金		7	日	〃
8	土	関ブロ役員交流会（神奈川）	8	月	〃
9	日		9	火	全国三役会（広木出席）
10	月		10	水	
11	火		11	木	
12	水		12	金	
13	木		13	土	東日本女性集会
14	金	全国三役会（広木出席）	14	日	〃
15	土	NPO支援活動	15	月	
16	日	〃	16	火	全国理事会（広木・岡田賢出席）
17	月	〃	17	水	
18	火	全国理事会（広木・岡田賢出席	18	木	県連理事会
19	水		19	金	
20	木	県連理事会	20	土	
21	金		21	日	
22	土		22	月	
23	日		23	火	
24	月		24	水	
25	火		25	木	拡大部会
26	水		26	金	
27	木	拡大部会	27	土	関ブロ自然保護者集会（清澄山）
28	金		28	日	〃
29	土		29	月	
30	日		30	火	
			31	水	

発行者　　：千葉県勤労者山岳連盟
〒２６１－００１３　千葉市花見川区幕張本郷　1-２９-1
レジデンス幕張台　101号室
発行責任者　：吉田　哲治　　編集責任者　：　広木　国昭
TEL・FAX　：　043－306－1190（事務所には常駐しません）
Eメール　　：　rousanchiba@grapa.or.jp
問合わせ　　：　千葉県勤労者山岳連盟　ホームページ事務局への問い合わせ